

「日本・フィリピン国際消防防災フォーラム」の開催

参事官

1 国際消防防災フォーラム

経済発展や都市化が進んでいるアジア諸国では、これまで以上に高度な消防・防災体制を構築する必要性が高まっており、これらの国から我が国に対し、人命救助や消火の技術、火災予防制度等に関する知見の共有や技術の移転に対する要望が増加しています。

このことを踏まえ、消防庁では我が国の消防防災技術・制度等をアジア諸国を中心に広く紹介する国際消防防災フォーラムを平成19年度から年に1度開催しています。

11回目となる本年度のフォーラムは、平成30年11月28日、29日に、フィリピンのマニラ首都圏ケソン市において「日本・フィリピン国際消防防災フォーラム」と題し、フィリピン内務自治省消防局との共催で実施しました。



フォーラム 開会式

2 今次フォーラムの概要

フォーラムは、フィリピン内務自治省及び在フィリピン日本国大使館からのスピーチで幕を開け、その後、長尾一郎消防研究センター所長をはじめとする消防庁職員より、フィリピン側の要望に応じて設定されたテーマに関するプレゼンテーションが行われました。また、フィリピン側からも2つのテーマでプレゼンテーションが行われ、フィリピン消防の実情が日本側の参加者に共有されました。今回は、フィリピン側からの提案によりプレゼンターと参加者との質疑応答の場が多く設けられ、プレゼンターは個々のプレゼンテーションについて会場の

参加者と活発な意見交換を行いました。両国の参加者から多くの質問があり、とりわけフィリピン側の参加者の日本の制



会場内 プレゼンテーション

度や災害対応に対する関心の高さが感じられました。

3 消防用機器等の「海外展開」の場としても

また、フォーラムには我が国の消防・防災関係企業（12社）も参加しました。各企業の参加者は、ステージ上でのプレゼンテーションやそれに続く全社参加の質疑応答セッションに加え、会場に隣接して設けられた展示ブースにおいて、自社製品のPRを行いました。



日本企業と参加者との質疑応答



日本企業による製品紹介

4 おわりに

今次のフォーラムは、フィリピン内務自治省消防局やJETROの協力により、消防団関係者や地方自治体の防災担当者、消防防災機器の取り扱い企業の参加も得ることができ、官民連携して日本の消防防災分野における知見、経験、技術等をフィリピンの消防防災関係者に幅広くアピールする良い機会となりました。

発表テーマ

【日本側】

- 日本の消防の制度概要と自然災害対応
- 日本の消防団
- 日本の予防行政
- 日本の消防用機器に係る規格・認証制度
- 日本の消防機関によるCBRNE対応

【フィリピン側】

- フィリピンの火災予防
- フィリピンの救助、救急、CBRNE等

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 手島、村田
TEL: 03-5253-7507